

福祉体験学習

1月22日(金), 広島県介護福祉士会の方に来ていただいて, 福祉体験学習をしました。はじめに, 高齢化社会である日本の現状を分かりやすくクイズ形式で教えていただきました。

その後, 介護福祉士さんから, 車いすの扱い方や車いすの動かし方と声のかけ方, 目の見えない人を安全に案内するやり方・声のかけ方などを教わって実際に体験しました。

おじいちゃん・おばあちゃんになったつもりで, また, おじいちゃん・おばあちゃんをお手伝いすると思って体験しましょう。



アイマスク体験

○斜め一歩前に立って案内する。

○「まっすぐいきますよ。」「段がありますよ。」「曲がりますよ。」など, 声をかけながら・・・

○狭いところは一列で前を歩く。

○相手の立場に立って・・・



車いす体験

○ブレーキがかかっているか確かめてから, 座らせてあげる。

○足を置くところを下ろして, 足を置いてあげる。

○「段があるから前を上げますよ。」と言って, レバーを踏んで段差をこえる。

○坂道を下るときには, 後ろ向きでブレーキをかけながら進む。

○ブレーキをかけて, 立たせてあげる。





介護福祉士のみなさん、ありがとうございました。

体験を通して、子どもたちは、段差を越えたり、後ろ向きで移動したりする恐ろしさや見えないことへの不安を感じていました。また、声をかけてもらうことによる安心感や嬉しさも感じる事ができたようです。この経験を「ドリームせせらぎ」訪問でのお年寄りとの交流や今後に活かしてほしいと思います。